

「故事成語について調べ、クイズをしよう」

～故事成語の意味を理解し、使うことができる～

故事成語の意味と使い方を理解することに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、この課題を解決するために、故事成語を用いた問題を作ったり、それに答えたりするような事例を紹介します。なお、本アイデアは、第4学年以上を対象にしています。

課題の見られた問題の概要と結果

A[2] 故事成語の意味と使い方を理解する

- A[2]一 正答率 **56.0%** 「五十歩百歩」「百聞は一見にしかず」の使い方として適切なものを選択する
A[2]二 正答率 **50.1%**

学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕

伝国(1)ア(イ)

授業アイデア例

単元「故事成語について調べ、クイズをしよう」(全4時間)



第一次 (①/4)

A[2]の問題を活用しながら、学習課題や学習計画を立てる

【A[2]の問題の活用例】

- ① A[2]一・二のそれぞれの選択肢は何の故事成語にあたるかを考える。
- ② 「五十歩百歩」や「百聞は一見にしかず」を使って別の文章を考える。
- ③ A[2]のその他の選択肢に当たる故事成語を使って別の文章を考える。
- ④ A[2]以外の故事成語について話し合う。

クイズには、問いと答えをやり取りする楽しさがあります。その特性を学習活動に位置付けることによって、故事成語の意味や使い方についての理解を深めることができます。

第二次 (②③/4)

グループで調べる故事成語を決め、意味や使い方を調べ、問題を作る

① 学校図書館において故事成語について調べる

国語辞典、故事成語辞典などを利用して故事成語の意味や使い方を調べる。

取り上げる故事成語の例

- ①「蛇足」②「五十歩百歩」③「漁夫の利」④「温故知新」⑤「蛭雪の功」⑥「杞憂」⑦「推敲」⑧「助長」⑨「矛盾」⑩「虎の威を借る狐」⑪「百聞は一見にしかず」⑫「他山の石」⑬「登竜門」⑭「先んずれば人を制す」⑮「良薬は口に苦し」⑯「一を聞いて十を知る」など

② 調べたことをカードにまとめる

故事成語 蛇足(だそく)

意味 必要のないものまで加えて、そのことで全体をだめにしてしまうこと。

由来 ヘビの絵をかく競争で、早くかき上げた人がよけいな足をかき加えたために負けになったことから。

用例 ぼくは、書いた手紙を読み直して、最後の一行を消すことにした。なぜならば、「蛇足」だと思ったからだ。

第三次 (④/4)

故事成語クイズをする

① 問題を提示する

出題者は問題 **用例** を読む。

ぼくは、書いた手紙を読み直して、最後の一行を消すことにした。なぜならば、 だと思ったからだ。

② 問題を解く

上記の「取り上げる故事成語の例」をカードにして黒板に掲示し、 に入る故事成語を選ぶ。その際、意味も言うようにする。

③ 答え合わせをする

出題者は、正解を述べた後、意味と由来についてカードを見せながら発表する。

には、どんな故事成語が入るでしょう。



答えは、「蛇足」です。最後の一行が余計だったという意味だからです。



正解です。「蛇足」という言葉の由来は、○○です。



本授業アイデア例活用のポイント

- 本アイデアは、第4学年の教科書教材に関連させて指導すると効果的です。第5学年・第6学年では、スピーチをしたり、随筆を書いたりするときに、故事成語を使うように指導することも考えられます。